

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年4月12日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3972100469
法人名	有限会社 ライフ
事業所名	グループホーム サンライズ
所在地	〒781-5222 高知県香南市野市町母代寺381-6
自己評価作成日	平成21年11月19日
評価結果市町村受理日	平成22年4月19日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年12月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=3972100469&SCD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホームでは、入居者一人ひとりの状態や希望に沿った個別ケアに力を入れており、職員の担当制で1カ月に1回はご本人とゆったり過ごしたり、行きたい所への外出や外食のほか、季節の行事やドライブ、ボランティアの方々による舞踊やレクレーションを楽しむなど、支援しています。ご本人やご家族の希望があれば、入居まで掛かっていた主治医を変えずに受診できるようにし、職員も付き添っています。また、週4回のホームドクターの往診や、訪問看護も週2回受け、健康管理面でも綿密な連携体制がとれています。町内会にも入っており、地区のイベントや行事（花見、月見、忘年会、餅つき、地区清掃）に参加したり、月に1回は多目的ホールで懐かしい映画を観賞するなど、地域との交流を積極的に行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

郊外の閑静な団地の一角に位置する遍路宿を改修した事業所である。玄関のプランターには季節の花が植えられ、軒先には利用者が作った干し柿、干し大根などがあり、生活感が感じられる。協力医の往診、訪問看護のほか、かかりつけ医への受診には職員が同行するなど健康管理にも配慮している。多目的ホールで開催する昔懐かしい映画の上映やミニコンサートなどに地域住民の参加があり、また、地域の行事や活動に利用者、職員が参加することで、地域の一員としての暮らしも確保できている。開設して5年目になり、利用者の重度化も進んでいるが、開設当初からの職員も多く、利用者一人ひとりの状態を把握し、残存能力を活かした個別ケアを大切にしており、利用者、家族にとって安心感と信頼関係のある事業所である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>住み慣れた地域で安心して暮らしていただくために、利用者、職員が地区の清掃活動や踊りの発表会等に積極的に参加し、事業所としてもボランティア活動に取り組むなど、利用者本位や地域とのつながりを大切にした実践に取り組んでいる。</p>	<p>事業所独自の理念があり、職員会等で理念の意識付けを図るとともに、日々のケアの中で、利用者が地域の一員として、これまでの暮らしが継続できるよう支援している。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域の一斉清掃や花見など、町内会活動に利用者と職員が参加して馴染みの関係を築き、散歩時に親しく挨拶等を交わしている。近所から野菜をいただいたり、メダカや花を見に来てくれたり、近隣に住む人達と触れ合う機会が多い。市内の催し物にもできるだけ参加し、ボランティアとの関係作りも出来ている。</p>	<p>町内会に加入し、地域活動や行事に積極的に参加している。地域住民が丹精込めて育てた懸崖菊の鉢を持ってきてくれたり、野菜のお裾分けがあるなど、日常的に交流している。また、事業所で認知症サポーター養成講座を開催するなど、地域に溶け込んでいる。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>キャラバンメイトの認知症サポーター養成講座の勉強会をしたり、事ある毎に認知症の相談を受けている。また、来所された方の要望に沿って、ホームの説明や見学、相談に応じている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2カ月に1回運営推進会議を開催し、活動報告や運営報告を行い、出席者より多くの意見を出してもらい、サービス向上に活かしている。</p>	<p>事業所から入居者の状況や取組みについて報告し、委員から意見や提案が出るなど、双方向的な会議となっている。また、評価結果を報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>市と常に連絡を取り合い、入居者の困難事例について相談している。また、運営推進会議を通じて、事業所の実績やケアサービスの取組みも伝えている。</p>	<p>運営推進会議を通じて、事業所の実情を伝えたり、行事案内をするほか、市の依頼を受けて認知症サポーター養成講座を開催するなど、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>利用者が外出しそうな時は、止めるのではなく、さりげなく声かけしたり、一緒について行き、散歩、日光浴や園芸等、安全面には配慮して自由な暮らしを支えるようにしている。身体拘束に関する研修会にも参加し、職員間の共通認識を図っている。</p>	<p>身体拘束に関する研修や話し合いを通じて、職員の理解を深め、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。また、利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して支援に努めている。リスクに関して利用者の状況に応じて家族と話し合っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会に参加したり、虐待防止マニュアルを作り、高齢者虐待防止法に関する理解浸透や遵守に向けて取り組んでいる。職員は、虐待を正しく理解し、お互いに入居者の権利が守られるよう注意し合い、防止に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者、職員は複数の研修に参加し、職員全員で勉強会を行い、理解を深めるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間をかけて丁寧に分かりやすい言葉で、十分説明し、理解と同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	本人や家族の意見等には可能な限りすぐに対応し、内容についても職員会で話し合い、検討結果を運営に反映させるようにしている。また、2カ月毎に家族会を開催し、意見や思いが伝えられるような雰囲気づくりに心がけている。	家族会や地域の外部相談員の配置など、意見、要望を出しやすい仕組みを作っている。また、苦情の発生要因等について検討し、今後のケアの質の向上をめざす取り組みをしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会で意見や提案が出せるよう努め、日頃からコミュニケーションを図るよう心がけている。また、代表者と管理者、職員は外食などの機会にざくばらんに話し合い、意見が反映されるような対応をしている。	職員会で意見や提案を聞くようにしている。また、管理者が個別に相談に応じる機会も設けており、職員の気づきや意見等を運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は毎日現場に出ており、利用者と過ごしたり、職員の業務や悩みを把握している。また、職員が向上心を持って働けるよう、資格を取る為の勉強会への参加も支援し、職能評価を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修にはなるべく多くの職員が受講できるように、事業所の車を出したり、研修に合わせた勤務調整をしている。また、職員会で伝達講習をして、職員間で共有している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡会にも入っており、東部のグループホームの会合や勉強会には積極的に参加している。他のグループホームのバザーや催し物に積極的に出かけるなど、相互に交流している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>管理者二人は入居迄の間に何回も訪問し、入居時の不安を減らす様に行っている。また、利用者がホームに慣れる迄の間は不安にならないように、全職員が最大限の注意を払っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ケアマネージャー、相談員の方を含め家族と面接し、ご家族が求めているものを理解し、事業所としてどのように対応できるか事前に話し合いをしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族に当ホームを見学してもらうことから始め、本人に遊びに来てもらったりする事を繰り返しながら当ホームでの生活が安定するよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	支援する側、される側という意識を持たず、共に暮らす人生の先輩である利用者に教えていただく場面が多い。また、体を使う家事や趣味に自発的に取りかかれるように、道具の置き場所等考えたり、ヒントを出すなど、自立支援に努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の日頃の状態を面会時や毎月の手紙などを通じて伝えている。職員は家族の思いを理解するように努め、利用者と共に支え、家族と同じ思いで支援していることを伝えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔から通っている美容室や散髪屋に出かけている。自宅訪問時には、近所の人に訪ねて来てもらったりして関係が途切れないようにしている。	馴染みの理・美容院を利用するなど、その関係の継続に配慮している。また、入居後は、近所の方と散歩や町内会活動、事業所の行事等を通じて、新しい馴染みの関係ができています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別に話を聞いたり、みんなで楽しく過ごす時間や、気の合う者同士で過ごせる場面づくりなど、利用者同士の関係がうまくいくように、職員が調整役となっている。また、利用者同士がお互い支え合う場面づくりにも配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後もご家族との関係を大切にしており、入院先へのお見舞いや葬式、法事などにも必ず出席している。また、県外在住のご家族から毎年梨を送って下さったり、近くのご家族の畑を借りるなど、交流が続いている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、入居者一人ひとりの思いや意向については、担当職員を通じて確認するなど、把握に努め、職員全員で共有している。頻繁な帰宅にも付き添うなど、支援している。	日頃の利用者との会話や表情などから、利用者の思いや意向を把握している。また、花の栽培や川柳、歌唱など、趣味や好みに応じて個別に利用者の意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の面談時に本人や家族から今までの生活歴を聞き取るようにしている。入居後も、情報の把握に努め、本人の理解にも繋がっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	担当職員は事細かく利用者の心身の状態を把握し、申し送りなど情報を全職員に伝え共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族から、思いや意見を聞き、担当職員が利用者のプランの評価、アセスメント表を作り、その資料を参考に、全員でカンファレンスを行っている。	利用者、家族の意見や職員の気づきなどを踏まえ、職員全員で話し合い、介護計画を作成している。3カ月毎の見直しを基本としているが、利用者の状態変化に合わせて、その都度見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の食事量、水分量の摂取状況や、体力が低下している場合は独自の処遇記録を用意し、処遇記録、日誌、連絡ノートにも記録し、職員間の情報共有を徹底している。また、個別記録をもとにモニタリングし、プランを作成している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	移動手段のない家族の送迎や、利用者の要望に応じて入所先の家族に面会に行くなど、既存のサービスにとられない柔軟な支援を心がけている。また、整体師やボランティアによるアロマセラピーも活用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の図書館の利用や、町内会で行われる月見会、花見、餅つきへ参加したり、地域から運営推進会議の委員になってもらうなど、地域資源を活用している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医のほか、本人や家族の希望があれば、入居前のかかりつけ医や疾患に応じた専門医に受診し、職員が付き添っている。	利用者、家族の希望する医療機関に受診できるよう支援している。受診の際は、日頃の利用者の状況を主治医に報告できるよう、職員も同行している。受診結果は看護記録により共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に2回、訪問看護を受けており、利用者の情報を詳しく伝え相談している。また、いつでも来てもらえる体制ができており、適切な受診や看護を受けられるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	協力医の紹介で入院することが多く、病院関係者の理解も深い。ホームで対応可能になれば、早く退院できるように話し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の意向を汲み、医師、職員が連携をとり安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。看取りマニュアルも作り、それに沿った対応をしている。</p>	<p>重度化に関する指針に基づき、家族に説明し、同意を得ている。これまで看取りの事例もあり、利用者、家族の意向に沿って医療関係者と連携し支援していく体制ができています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを作成し、目につく電話の横に貼り、緊急時に対応出来る様になっている。消防署の協力を得て、救急手当や蘇生術の研修も実施している。協力医師の協力体制も整っている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルに沿って避難訓練を定期的に行っている。地区の協力体制については、町内会にもお願いしている。運営推進会でも協力を呼びかけている。</p>	<p>消防署の協力と地域住民の参加を得て、年2回の避難訓練を実施している。また、避難路の確認、確保もできている。非常用の食料等は準備されているが、飲料水の確保量は三日分の保存としては不足している。</p>	<p>非常用の飲食料食料の備蓄量については、高知県社会福祉施設地震防災対策マニュアルを参考に検討されることを期待したい。</p>
<p>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>本人の気持ちを大切に考えたケアを心掛けており、自己決定しやすい言葉掛けをするよう努めている。プライバシーについても職員会で話し合い再確認を行っている。</p>	<p>利用者の誇りを損ねないケアの実践を職員に徹底している。プライバシーの保護については、職員会で話し合い、日頃の声かけなど、職員同士で注意し合っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声掛けの際、表情や反応を注意深く把握し、利用者が自己決定できるよう複数の選択肢を提案し、曖昧な伝わり方にならない様注意している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりが本来持っているペース、望んでいるペース、その時の本人の気持ちを尊重し、本人のサインを読み取り、希望を尋ねるなど個別対応に努めている。入浴、居室での食事、起床、入床等も自由にできるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	馴染みの美容室や散髪屋に職員と出かけ、本人の希望にあったカットをしている。外出時のおしゃれも本人の意向を取り入れ、その人らしさを保てるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者に食べたい物を聞きながらメニューを作り、料理方法など教えてもらいながら一緒に調理している。また、ホームの畑で採れた野菜や芋などの食材も食卓に乗せている。	事業所の畑で収穫した野菜などを使って、利用者と一緒に調理したり、下膳、食器洗いなど利用者の出来ることを大切にした食事支援をしている。また、キザミ食やミキサー食など、利用者の状態に合わせて提供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、内容など個々に確認し、水分の摂りにくい利用者には、お茶ゼリーなどで対応しながら一日の水分量のチェックをしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っており、自分でできる方は声かけ見守りし、できない方には有する能力を活かしながら個々に介助している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間は個々に合わせて、安楽尿器やポータブルトイレを使用したり、日中は時間を見計らい、出来るだけトイレで排泄するよう支援している。	排泄チェック表で利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、出来るだけトイレで排泄するよう声かけしている。夜間は状況に応じてポータブルトイレを使用するなど、オムツはずしに向けて支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の方には牛乳やヨーグルト、お茶ゼリー等で十分な水分補給と繊維質の多い食材を提供している。また、毎日のラジオ体操に加え、個々の活動に応じて散歩や廊下の歩行訓練等、声かけし、便秘予防に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>利用者の入浴したい日、時間に合わせた入浴支援をしている。入浴を拒む利用者には、タイミングや自尊心を傷つけないよう工夫しながら、本人のペースに合わせて声かけしている。毎日の入浴、昼食後の入浴、夕食後の入浴するなど様々である。</p>	<p>毎日の入浴や昼食、夕食後の入浴など、利用者の希望に応じて入浴できるよう職員体制を整えている。入浴拒否の利用者には、職員を変えて声かけしたり、時間をずらすなど工夫しながら支援している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるよう努めている。また、一人ひとりの体調や表情、希望等を考慮して、ゆっくり休息がとれるよう努めている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の処方、効能の説明をファイルし、職員が内容を把握できるようにしている。処方の変更等があった場合は、連絡ノートに必ず記載し、特に状態変化の観察に努めている。また、服薬時は、必ず本人の名前、日付、時間を声に出して手渡し、服用できているか確認している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>食事作りや花壇の手入れ、畑作りから収穫、梅干しや干し柿を作り、縫い物など、利用者の得意分野で経験や知識を発揮できる場面を作り、感謝の言葉を伝えている。また、より生きがいのある日々を過ごしていただくよう、気分転換の一つ一つにも利用者の希望に沿った個別支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>利用者一人ひとりの習慣や楽しみごとに合わせて、喫茶店や馴染みの美容室、外食、買い物、踊りや季節ごとの植物の見学等、積極的に出かけるようにしている。また、本人の希望に合わせた個別支援も行っている。</p>	<p>日常的に散歩に出かけ、水路の鯉を鑑賞することが楽しみの一つになっている。また、量販店等に買い物に行くなど支援している。また、みかん狩りや菊花展の見学など季節ごとの行楽や外食に出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分で所持金を管理できる利用者には、財布からお金を出すことで社会性の維持につなげている。管理できない利用者も、買い物時には自分で払うよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族や友人などに電話しやすい環境作りや、職員から声掛けするなど、利用者の希望に応じて日常的に電話できるよう支援している。自分で書いた手紙もよく出している。また、年賀状を出す支援も欠かさず行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>茶碗を洗う音、ご飯の炊ける匂い、心地よい音楽、ゆず湯、鍋料理、晩酌など、五感や季節感を意識的に取り入れる工夫をしている。壁面の飾りも季節感を取り入れ、幼稚にならないよう気をつけている。</p>	<p>一般家庭で使用される馴染みのある家具が配置され、手すりの設置など適所に安全面で配慮している。壁面の飾りつけも季節を感じることができるよう工夫し、コーナーに手作りの一人用テーブルを置くなど、利用者が思い思いにくつろげる共用空間となっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	廊下やホールにいくつかのくつろぎの場所を用意して、椅子、ソファで気の合う入居者同士が談話している。また、喫煙希望者は他の利用者に配慮し、別の部屋で職員と一緒におしゃべりと喫煙を楽しんでいる。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	馴染みのタンスや写真や使い慣れた日用品、仏壇など、本人の思いのままの飾りや置物があり、個性的で、今まで暮らしていた状態を継続するように工夫している。	使い慣れた箆笥やテレビ、時計、若き日の写真、神棚など、利用者が安らぎを得るような馴染みの物が置かれ、居心地よく過ごせる工夫をしている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	本人にとって「何が解りにくいのか」「どうしたら本人の力でやれるのか」を考えながら、現状や利用者の立場に立った環境作りを心かけている。		

V アウトカム項目		ユニット名：	空
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた地域で安心して暮らしていただくために、利用者、職員が地区の清掃活動や踊りの発表会等に積極的に参加し、事業所としてもボランティア活動に取り組むなど、利用者本位や地域とのつながりを大切にした実践に取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一斉清掃や花見など、町内会活動に利用者と職員が参加して馴染みの関係を築き、散歩時に親しく挨拶等を交わしている。近所から野菜をいただいたり、メダカや花を見に来てくれたり、近隣に住む人達と触れ合う機会が多い。市内の催し物にもできるだけ参加し、ボランティアとの関係作りも出来ている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	キャラバンメイトの認知症サポーター養成講座の勉強会をしたり、事ある毎に認知症の相談を受けている。また、来所された方の要望に沿って、ホームの説明や見学、相談に応じている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回運営推進会議を開催し、活動報告や運営報告を行い、出席者より多くの意見を出してもらい、サービス向上に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市と常に連絡を取り合い、入居者の困難事例について相談している。また、運営推進会議を通じて、事業所の実績やケアサービスの取組みも伝えている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者が外出しそうな時は、止めるのではなく、さりげなく声かけしたり、一緒について行き、散歩、日光浴や園芸等、安全面には配慮して自由な暮らしを支えるようにしている。身体拘束に関する研修会にも参加し、職員間の共通認識を図っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会に参加したり、虐待防止マニュアルを作り、高齢者虐待防止法に関する理解浸透や遵守に向けて取り組んでいる。職員は、虐待を正しく理解し、お互いに入居者の権利が守られるように注意し合い、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者、職員は複数の研修に参加し、職員全員で勉強会を行い、理解を深めるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>時間をかけて丁寧に分かりやすい言葉で、十分説明し、理解と同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>本人や家族の意見等には可能な限りすぐに対応し、内容についても職員会で話し合い、検討結果を運営に反映させるようにしている。また、2カ月毎に家族会を開催し、意見や思いが伝えられるような雰囲気づくりに心がけている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会で意見や提案が出せるよう努め、日頃からコミュニケーションを図るよう心がけている。また、代表者と管理者、職員は外食などの機会にざくばらんに話し合い、意見が反映されるような対応をしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は毎日現場に出ており、利用者と過ごしたり、職員の業務や悩みを把握している。また、職員が向上心を持って働けるよう、資格を取る為の勉強会への参加も支援し、職能評価を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修にはなるべく多くの職員が受講できるように、事業所の車を出したり、研修に合わせた勤務調整をしている。また、職員会で伝達講習をして、職員間で共有している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会にも入っており、東部のグループホームの会合や勉強会には積極的に参加している。他のグループホームのバザーや催し物に積極的に出かけるなど、相互に交流している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者二人は入居迄の間に何回も訪問し、入居時の不安を減らす様になっている。また、利用者がホームに慣れる迄の間は不安にならないように、全職員が最大限の注意を払っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ケアマネージャー、相談員の方を含め家族と面接し、ご家族が求めているものを理解し、事業所としてどのように対応できるか事前に話し合いをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談時に本人や家族の思い、状況を確認し、その思いを大切に整体師や福祉用具、知人との交流等、幅広い対応をしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者さんも職員も同じ人間であり、一方的な関係でなく、人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、普段から利用者さんに教えてもらう事が多い。本人の思いや不安、喜びを知る事で共に支え合える関係づくりに努めている。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>職員は家族の気持ちや思いを汲み取り、本人の日頃の状態をこまめに報告したり、毎月サンライズ便りを送り、利用者を一緒に支えるために、自然な関係作りを目指している。また、行事参加の送迎や面会の機会を多くしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>昔からの馴染みの店に行き、馴染みの人達との関係を大切に途切れないよう支援に努めている。また、自宅の近所の方や同級生等も訪ねて来てくれている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	新聞を読むことを好む利用者に新聞を届けたり、外出時におみやげを買ってくるなど、利用者同士が関わり合い、支え合えるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も、家族との関係を大切にしている。葬式、法事などにも出席している。退居入院時には、見舞いに行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員から声掛けし、会話や動作の中からヒントを得るようにし、本人の思いや意に沿って、プランの見直しを行っている。頻繁な外出希望にも出来るだけ対応している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の生活歴や職歴などを本人や家族から聞き取り、生活の中で得意な分野で活躍出来るように対応している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりの状態、生活リズムを理解するように努めている。担当職員は、利用者のことをより把握し、情報を全職員に伝え共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人と家族の思いや意見を聞き、それを元に利用者に応じたプランを立てている。担当職員がアセスメントし、職員全員でカンファレンスを行っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>必要に応じて食事量、水分量、発熱時は別に様式を作り、医療機関にも提供している。処遇記録、日誌、連絡ノートに記録し、職員間の情報共有を徹底している。その記録はプランの作成時に役立っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎等、柔軟に対応し、個々の満足度を高めるよう支援している。整体師によるマッサージも受けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の中で生き生きと暮らしているよう周辺施設の催し物に出かけたり、民生委員、ボランティアとの連携、協力も得ている。市内の芸能ボランティアや町内会とも日常的に交流できている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医や専門医に受診し、職員が付き添っている。必要に応じ家族も一緒に行っている。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護ステーションとの契約に基づき、日頃の健康管理や医療面で相談したり、助言や対応を行っている。在職の看護師とも連携が出来ている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時には、本人の情報を医療機関に提供し、頻繁に見舞うようにしている。また、家族の希望も取り入れ情報交換しながら、医師からも治療経過を聞くなど、速やかな退院支援に結びつけている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。急変した場合はすぐ対応して頂けるよう医療機関との連携体制を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを作成しており、職員は内容を理解している。また、研修や講習に出かけ、日々勉強し実際の現場で対応できるようにしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>緊急連絡網は職員全員で把握し、避難訓練を定期的に行い、日頃から災害についての意識を高めている。地区の協力体制については、町内会や運営推進会議を通じて協力を呼びかけている。</p>		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>人生の先輩として尊敬し、言葉掛けには気をつけている。本人のこだわりなど大切にしながら対応している。入室の際は必ずノックし、不在の時は入室許可を得て行っている。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>会話の中で、本人の思っていることや、希望していることを聞き出せるよう努め、自己決定ができるような場面を作っている。買い物やドライブ等、利用者の要望に沿って行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者一人ひとりが本来持っているペース、望んでいるペース、その時の本人の気持ちを尊重し、本人のサインを読み取り、希望を尋ねるなど個別対応に努めている。入浴、居室での食事、起床、入床等も自由にできるよう支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>外出時には、お化粧を念入りにしたり、服も選んでおしゃれするなど支援している。馴染みの美容室に行き、希望にあったカットや毛染めをしている。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者に食べたい物や好物を聞き、メニューに取り入れ提供するよう心がけている。職員は、話題や活け花などで雰囲気作りを大切に、利用者と同じテーブルを囲み、楽しく食事をしている。</p>		
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養がバランス良く摂れるよう工夫し、摂取量を把握している。状態に応じてミキサー食やきざみ食にしている。1日の水分量も把握し、少ない利用者にはゼリーやジュース、牛乳など好みに応じて支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>口腔ケアの重要性を職員全員理解している。毎食後の口腔ケアの声かけを行い、その方の能力に応じて職員が見守ったり介助を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ひとり一人の排泄パターンを把握し、声掛けを行って、能力に合った介助を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日頃より繊維質の多い食材や、乳製品を摂っていただき、体操や散歩で身体を動かす機会を多くし、自然排便できるよう取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	午前、午後自由に入浴できる。その日の体調も含め、毎日各自の希望を聞き、入浴を行っている。脱着は出来るだけ自分でして頂き、必要に応じ声掛けをして、納得の上で介助している。会話も多くして自然に入浴している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく日中は体操や散歩にて活動を促し、生活リズムを整えるよう努めている。また、ひとり一人の体調や表情、希望を考えてゆっくりと休息が取れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋のコピーを各自の薬の袋に入れ、職員が内容を把握できるようにしている。服薬時は、名前、日時の確認を行い、本人に手渡し、介助が必要な方は、職員が口に入れきちんと服薬できているかを確認している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>1日の流れの中で、個々の得意分野で力を発揮してもらえるよう、仕事を探し、感謝の言葉を伝えている。映画鑑賞やドライブに出かけ、気分転換ができるようにしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>利用者一人ひとりの習慣や楽しみごとに合わせて、喫茶店や馴染みの美容室、外食、買い物、踊りや季節ごとの植物の見学等、積極的に出かけるようにしている。また、本人の希望に合わせた個別支援も行っている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分で所持金を管理できる利用者には、財布からお金を出すことで社会性の維持につなげている。管理できない利用者も、買い物時には自分で払うよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族や友人などに電話しやすい環境作りや、職員から声掛けするなど、利用者の希望に応じて日常的に電話できるよう支援している。自分で書いた手紙もよく出している。また、年賀状を出す支援も欠かさず行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	茶碗を洗う音、ご飯の炊ける匂い、心地よい音楽、ゆず湯、鍋料理、晩酌など、五感や季節感を意識的に取り入れる工夫をしている。壁面の飾りも季節感を取り入れ、幼稚にならないよう気をつけている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	廊下やホールにいくつかのくつろぎの場所を用意して、椅子、ソファで気の合う入居者同士が談話している。玄関のソファや花壇は、癒しの場でもある。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	馴染みのタンスや写真や使い慣れた日用品、仏壇など、本人の思いのままの飾りや置物があり、個性的で、自宅での状態を継続するように工夫している。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	本人にとって「何が解りにくいのか」「どうしたら本人の力でやれるのか」を考えながら、現状や利用者の立場に立った環境作りを心かけている。		

V アウトカム項目		ユニット名： 大地	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない